

「百聞は一見に如かず、湘南丸の実際」(協力)

概要： 岬陽小学校3年生が、県立海洋科学高校の実習船湘南丸を見学した。

小学校3年
総合



実施内容

1. **実施校** 三浦市立岬陽小学校
2. **目的** 実習船湘南丸に乗り、見学をすることにより、マグロ漁船の実際の様子を知り、児童の海に対する興味・関心を育てる。
3. **内容** 子どもたちを、スライドによる説明を受けるグループと船内を見学するグループの2班に分けて行われた。
4. **日時** 平成28年 9月27日(火) 9:30～11:30
5. **場所** 三崎港花暮岸壁
6. **参加者** 岬陽小学校3年生34名、校長、教員、研究所職員
7. **指導者** 県立海洋科学高校教員、船長、乗組員、専攻科学生
8. **持ち物** 水筒、タオル等

当日の様子

- 最初に、船長より、湘南丸の概要の説明や諸注意があった。
- スライドによる説明では、マグロを獲る延縄の針の数が1,690本あるとか、漁が始まると早朝4時から操業するなどの情報に、児童は驚きの声を上げていた。子どもたちからは、「水揚げの時、マグロはなぜ口が開いているのか」「船内でお菓子は食べられるのか」等の質問が出ていた。
- 船内の見学では、機関室、操舵室、浴室、デッキなどを回った。船上では、真水が非常に大切で、風呂は海水で入り、洗濯もすすぎ以外は海水を使うとのことだった。無駄遣いを防ぐため、真水の蛇口は自動的に戻るようになっていた。
- こどもからは、「楽しかった」「また乗りたい」などの声が上がっていた。